



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 35

発行 令和2年12月11日
発行責任者 校長 菅野 靖



「スーパーサイエンス講座」を実施



【佐藤教授による講義】

【再生可能エネルギーの実験する生徒】

【SDGsについての説明】

12月7日(月)に、福島大学共生システム理工学類長の佐藤 理夫(みちお)教授を講師としてお招きし、「再生可能エネルギーで豊かな福島に！」という演題で「スーパーサイエンス講座」が開催されました。地球温暖化を抑止するために、再生可能エネルギーの実験を交えて、今後のエネルギーの供給や活用方法についてお話をいただき、生徒の皆さんはメモを取りながら真剣に講義を受けていました。講義のまとめに「原発にも化石燃料にも頼らない、再生可能エネルギー100%の社会の実現のために、福島の豊かな資源で豊かな生活を目指した福島で育ったシステムが日本を救う」という先生の言葉がとても印象的でした。

これからの地球環境を維持していくための「持続可能な開発目標(SDGs)」の7番目の目標の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と13番目の目標の「気候変動に具体的な対策を」について、我々も意識をして行動しなければならないと強く感じました。福島県は、この10年間、東日本大震災からの復興のために国をリードして再生可能エネルギーの活用の研究と実践を行ってきました。これから10年後、20年後、50年後の福島の未来や日本の未来、地球の未来を担っていくのは、生徒の皆さんです。よりよい社会や環境の持続を目指して一人ひとりが真剣に問題と向き合い、みんなで考え、行動していける大人になってほしいです。

白河市教育委員会の先生が「3年生の国語の授業」を参観



【3年生の国語の授業の様子】

12月8日(火)に藤井先生による3年生の国語の研究授業が行われました。和歌を現代詩化する授業で、学校司書の鈴木佐知先生が白河市立図書館から準備してくださった資料を使って、和歌に表現されている心情や情景の理解を写真や表現技法などの根拠となるポイントをグループで話し合い、対話を通して理解を深めていました。

授業の様子を、白河市教育委員会 指導主事の鈴木先生が参観な

され「全員が学習

課題に対して真剣に取り組み、自分の意見をもち、グループで意見を交わして理解を深めていて大変すばらしい」とお褒めの言葉をいただきました。3年生は、進路を達成させるために、日々努力していることと思いますが、大切なのは、普段の授業です。授業の中で、知識や技能を定着させ、考えや判断、表現できる力を身に付けられるよう取り組んでください。

生徒の活動の様子が新聞やパンフレットに掲載

12月7日(月)の民友新聞に五箇音頭の音源録音の記事が掲載されました。また、琴平メイさんの音楽事務所の紹介パンフレットに五箇中学校の鑑賞教室での演奏の写真を載せていただきました。

古関裕而編曲の五箇音頭 新しい音源を制作

地元中学生在が歌声録音
白河市五箇地区の住民でつくる「住みよい五箇をつくる会」は、同市の五箇中で同地区に伝わる「五箇音頭」のレコーディングを行い、同校の生徒が思いを込めた歌声を録音した。

五箇音頭は、福島出身の作曲家古関裕而が編曲を担った。五箇音頭で地城を盛り上げようと、同会は踊りの動画を撮影するなどしてきた。しかし、地城で使用された五箇音頭の音源が古く、歌詞などが聞き取れないことがあった。

約30人が参加し、音楽の時間や朝の自習の時間に練習を重ねてきた成果を揮った。飯田佑麻さん(3年生)は「これからは、五箇音頭がこの地域に残ってほしいの思いを込めて歌った」と語った。

レコーディングした音源は、今後、ブッキングした音源と合わせるなど、編集を行い来年中に完成予定。町おこしなどを団体で配るほか、希望者には有償でCDを配布する 예정이다。

式典、研修会でのハーブ演奏
大使館文化交流イベント
大使館民族楽器コンサート
クラシックコンサート企画派遣
ご要望に応じてオーガナイズします。

五箇音頭のレコーディングを行う生徒

新しい音源の制作が決まった。
11月28日は、同校の生徒が参加し、音楽の時間や朝の自習の時間に練習を重ねてきた成果を揮った。飯田佑麻さん(3年生)は「これからは、五箇音頭がこの地域に残ってほしいの思いを込めて歌った」と語った。